



基本構想

# 第1章 宇和島市の将来像

## 1. 目指す将来像

私たちの宇和島市は、風光明媚な多島海「宇和海」と、複雑な湾を屏風のように大切に囲む急峻な山々、そして、無数の清流が流れる盆地から成ります。この美しくても厳しい自然環境と対峙した先人たちは、斜面に石を積み、畑を切り拓き、波静かな入り江を利用して、養殖業に活路を見出すなど、試行錯誤の中から、常に新たな産業や洗練された文化を築いてきました。私たちは、このような地域特性を生かしたまちづくりをみんなの力で大切に受け継ぎ、発展させていきます。

本構想では、旧1市3町時代の合併協議会で定められた「新市建設計画」の基本理念を受け継ぎ、さらには「第1部 序論」を総合的に考慮し、宇和島市の将来像を次のように定めます。

### 自立・共生・協働のまち

“人と交わり、緑と話し、海と語らう きらめき空間都市”の実現を目指して

この将来像は、地域の多様な主体が、足りないところをお互いに補い、助け合いながら真に自立した地域経営を行うことを目指しています。そして、恵まれた自然と共生し、先人たちのように地域特性を生かしたまちづくりを推し進めることにより、新たな魅力やにぎわい、やさしさあふれるまちを創り出していき、四国西南地域の中核を担っていくことをうたっています。



## 自立・共生・協働

現在、地方分権の進展、地方産業・経済をめぐる環境の深刻化、少子高齢化・人口減少など、宇和島市を取り巻く情勢は、これまでにないスピードで大きく変化しています。今後もより一層厳しさを増すことが予想され、多様化・高度化する市民ニーズに対し、すべてを市において対応することは現実的に困難になってきています。これからは今まで以上に一人ひとりの市民を出発点として、より身近なところでできることは身近な場で行い、それが困難な場合は、地域、市、県、国とより大きな単位にゆだねていくという観点（補完性の原則）に立ち、宇和島市にとって、今、本当に必要なことは何かということを見極める必要があります。そして、市と市民をはじめとする地域のさまざまな主体とが「協働」の理念のもと、市の現状を正しく認識した上で、お互いに協力してまちづくりに取り組むことにより、真に「自立」した地域経営を進めていく必要があります。

このような考え方にに基づき、先人たちが取り組んできたように自然と「共生」し、地域特性を生かしたまちづくりを進めていけば、新たな魅力やにぎわい、そしてやさしさあふれるまちを創り出していくことができ、子どもたちに希望ある未来を手渡すことができるのではないのでしょうか。

## 人と交わり、緑と話し、海と語らう きらめき空間都市

「人と交わり」は、市民一人ひとりの活動がまちづくりの基本であることを示し、「緑と話し、海と語らう」は、“父なる大地と話す”中から自然に感謝して暮らす営みを学び、心豊かな子どもが育ち、“母なる海との語らい”から思いやりが芽生え、支え合う福祉が生まれるという考え方を掲げ、「きらめき空間」は、自然あふれる生活空間、個性的な文化が融合して雅を演出する空間、一人ひとりの笑顔がきらめく空間など、さまざまな空間が形成された都市像を表現しています。さらにサブタイトル全体で、郷土に誇りを持った人々が、農林水産業を守り育てるとともに商工業と連携し、先進性と創造力をさらに強力に発揮することで、四国西南地域の中核都市、ひいては地方分権時代の先駆者となることをうたっています。



## 2. まちづくりの姿勢

将来像を踏まえ、本市の新たなまちづくりにおいて、すべての分野にわたって基本とする姿勢を次のとおり定めます。

# 「宇和島らしさ」を追求します

本市ならではの特性・資源を最大限に生かし、農林水産業を柱とした産業をはじめ、健康福祉環境や生活環境、都市基盤、教育文化、人材、さらにはまちづくりの仕組みに至るまで、多様な「宇和島らしさ」を創造・追求・発信し、全国・世界に誇りうるまちづくりを進めます。

### 振興

農林水産業資源を生かした食産業拠点の形成、これを柱とした“宇和島産業”の復権と創造、雇用の場の創出

### やさしさ

市立宇和島病院を核とした医療体制の充実、支え合いの精神に基づく保健・福祉・介護・子育て環境の充実

### 環境

雄大で美しい自然と共生する特色ある環境自治体の形成、南海・東南海地震への備えをはじめとする総合的な危機管理体制の確立

### 都市機能

四国横断自動車道の整備を生かした広域的な拠点のまちとしての都市機能の強化

### 教育文化

新時代を拓き生き抜く「宇和島人」の育成、伊達家ゆかりの文化遺産等を生かした歴史文化の薫り高いまちづくり

### 協働

市民活動の活発な地域性を生かした市民と行政との協働のまちづくり、住民自治の仕組みづくり

### 3. 将来像実現に向けた政策目標

将来像及びまちづくりの姿勢を踏まえ、新たなまちづくりの政策目標（分野別政策の柱）を次のとおり定めます。

政策目標

1

キーワード

うわじまの  
『振興』活力あふれる産業が展開する  
うわじま

政策目標

2

キーワード

うわじまの  
『やさしさ』だれもが健康で  
安心して暮らせるうわじま

政策目標

3

キーワード

うわじまの  
『環境』自然と共生する快適・安全な  
うわじま

政策目標

4

キーワード

うわじまの  
『都市機能』人々が集う魅力ある  
便利で安全なうわじま

政策目標

5

キーワード

うわじまの  
『教育文化』新時代を拓き生き抜く人材を  
育成するうわじま

政策目標

6

キーワード

うわじまの  
『協働』

市民と共に歩むうわじま



政策目標

1

キーワード

うわじまの『振興』

## 活力あふれる産業が展開する うわじま

全国・世界に誇りうる食産業拠点の形成を目指し、意欲と能力のある担い手の育成や生産基盤の整備をはじめ、地産地消の促進や都市・消費者との交流の促進、試験研究施設の活用、特産品の開発・ブランド化の促進など、環境変化に即した多面的な振興施策を一体的に推進し、本市のまちづくりの中核を担う農林水産業の維持・高度化と、各産業との有機的連携・一体化を進めます。

また、都市基盤整備等と連動した商業環境づくりや交通立地条件の向上等を生かした優良企業の立地促進、産・学・官の連携強化による産業開発・起業支援体制の強化などにより、広域的な商業中心地としての機能の強化と工業の振興、新産業の開発を進めます。

さらに、優れた自然環境・景観や伊達家ゆかりの歴史資源、闘牛や牛鬼、食資源をはじめとする有形・無形の多彩な観光・交流資源を生かし、体験・滞在型の観光・交流機能の強化を進めるほか、これら産業振興等と連動した多様な雇用の場の確保を進めます。

キーワード

うわじまの『振興』

活力あふれる  
産業が展開する  
うわじま

農林業の振興

水産業の振興

商業の振興

工業の振興と新産業の開発

観光の振興

雇用対策と勤労者福祉の充実

政策目標

2

キーワード

うわじまの  
『やさしさ』

## だれもが健康で 安心して暮らせるうわじま

ヘルスプロモーション（自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセス）の理念を取り入れた、市民一人ひとりが健康寿命（健康で生活できる期間）を伸ばすことのできる環境づくりに向け、総合的な健康づくり体制の整備や、市立宇和島病院を核とした医療体制の充実を進めます。

また、支え合いの精神に基づく総合的な地域福祉体制づくりを進めるほか、次代を担う子どもが健やかに生まれ、育成される子育て支援の環境づくりを進めます。

さらに、超高齢社会の到来に対応した高齢者や障がい者の介護・自立支援体制の充実、さらには生活保護、国民健康保険、国民年金など社会保障の充実を図り、市民一人ひとりを大切に、だれもが支え合いながら健康で安心して暮らすことができる、人にやさしいまちづくりを進めます。

キーワード

うわじまの  
『やさしさ』

だれもが健康で  
安心して暮らせる  
うわじま

健康づくり・医療体制の充実

地域福祉の充実

子育て支援の充実

高齢者支援の充実

障がい者支援の充実

社会保障の充実



政策目標

3

キーワード

うわじまの  
『環境』

## 自然と共生する快適・安全な うわじま

緑輝く山々を背に宇和海をのぞむ、雄大で美しい自然がいきづくまちとして、自然環境の保全はもとより、公害の防止から地球温暖化の防止、新エネルギーの導入、市民の環境にやさしいライフスタイルの定着まで、環境の保全と創造に向けた総合的な環境・エネルギー施策を市民と一体となって推進し、四国をリードする環境自治体の形成を進めます。

また、快適な暮らしの確保と水環境・水循環の視点に立った水道・下水道の整備や、持続可能な循環型社会の形成に向けたごみ・し尿等廃棄物処理体制の充実、さらには墓地・斎場の整備やうるおいのある親水・親緑空間の保全と創造を進めます。

さらに、南海・東南海地震への備えをはじめとする災害に強いまちづくりや交通事故、犯罪、消費者トラブルのないまちづくりなど、総合的な危機管理体制の確立を図り、快適・安全・安心な暮らしが実感でき、だれもが住み続けたい、移り住みたくない地域づくりを進めます。

キーワード

うわじまの  
『環境』

自然と共生する  
快適・安全な  
うわじま

環境自治体の形成

水道の整備

下水道の整備

廃棄物処理体制の充実

墓地・斎場の整備

公園の整備と緑化の推進

消防・防災体制の充実

交通安全・防犯体制の充実

消費者対策の充実

政策目標

4

キーワード

うわじまの  
『都市機能』

## 人々が集う魅力ある 便利で安全なうわじま

四国横断自動車道の整備等による交通立地条件の向上を最大限に生かす視点に立ち、また市民ニーズの動向や時代変化等を総合的に考慮し、市の一体的発展を見据えた計画的かつ調和のとれた土地利用を推進します。

また、これに基づき、環境と共生し、人々が集う魅力ある市街地の形成や本市ならではの美しい景観の保全と創造、定住・移住の基盤となる住宅の整備を進めるとともに、四国横断自動車道や宇和島道路をはじめとする国・県道の整備促進や市道の整備、鉄道交通やバス交通、離島航路などの公共交通機関の利便性向上、港湾の整備、さらには電子市役所の構築と多様な分野における情報化を一体的に推進し、人々の交流を促進し、新たな発展を支える便利で安全な都市基盤づくりを進めます。

キーワード

うわじまの  
『都市機能』

人々が集う魅力  
ある便利で安全な  
うわじま

計画的な土地利用の推進

市街地の整備

景観の形成

住宅施策の推進

道路・交通網、港湾の整備

情報化の推進



政策目標

5

キーワード

うわじまの『教育文化』

## 新時代を拓き生き抜く人材を育成するうわじま

生きる力の育成を重視した特色ある教育活動の推進や、そのための学校施設の整備はもとより、各世代の学習ニーズや地域特性に即した生涯学習環境の一層の充実を図り、新時代を拓き生き抜く「宇和島人」の育成と、生涯を通じて学び続け、その成果を生かすことができる、まちづくりの一環としての総合的な学習環境の整備を進めます。

また、国民体育大会愛媛県開催を視野に入れたスポーツの振興や、市民主体の文化芸術活動、国際交流活動等の活発化を一層促進していくとともに、宇和島城など伊達家ゆかりの文化遺産をはじめ、本市が誇る数多くの有形・無形の貴重な歴史資源の保存とまちづくりへの一層の活用を図り、人が輝き、国際色豊かで歴史文化の薫り高いまちづくりを進めます。



新時代を拓き生き抜く人材を育成するうわじま

学校教育の充実

生涯学習の充実

スポーツの振興

文化芸術の振興と文化財の保存・整備・活用

青少年の健全育成

国際化・地域間交流の推進

政策目標

6

キーワード

うわじまの  
『協働』

## 市民と共に歩むうわじま

すべての人の人権が尊重され、社会の対等な構成員としてあらゆる分野に参画し、共に生きることができるよう、人権教育・啓発活動を推進するとともに、男女共同参画社会の形成に向けた多様な取り組みを推進します。

また、新たな時代の住民自治に基づく個性豊かな地域づくり、市民と行政とが力を合わせた協働のまちづくり、新しい公共空間の形成（行政に委ねられてきた公共を再構築し、住民や民間が共に公共を担うこと）に向け、コミュニティの育成を進めるとともに、市民と行政との情報・意識の共有化、各種計画づくりや公共施設の整備・管理等への市民・民間の参画・協働の促進など、新たなまちづくりの仕組みとしての市民と行政との協働体制の確立を進めます。

さらに、地方分権時代に即した真に自立可能・持続可能な新たな公共経営の推進に向け、顧客主義、成果主義など民間の経営理念・手法を導入し、行財政運営のあり方自体を常に点検・評価・公表しながら、行財政改革を強力に推進します。

キーワード

うわじまの  
『協働』

市民と共に歩む  
うわじま

人権尊重社会の確立

男女共同参画社会の形成

コミュニティの育成

市民と行政との協働体制の確立

自立した公共経営の推進